

2025年12月18日
損害保険ジャパン株式会社

海老名市との包括連携協定の締結について

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）とSOMPOひまわり生命保険株式会社（代表取締役社長：久米 康樹、以下「SOMPOひまわり生命」）は、海老名市（市長：内野 優）との相互連携と協働により、地域の課題解決や新たな価値提供および海老名市の取り組む「住みたい 住み続けたいまち 海老名」の実現に寄与することを目的として、「包括連携に関する協定」を2025年12月17日に締結しましたのでお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパンおよびSOMPOひまわり生命は、お客さまの安心・安全・健康な暮らしを支える保険会社として、幅広いネットワークやリスク管理の専門的なノウハウを活かし、地域の活性化と市民サービスの向上に貢献するための取組みを推進しています。海老名市では、2023年より海老名市民を中心に子どもたちが参加できる防災教室を開催したことや市民の交通安全を目的とした高齢者向け安全運転講習会の開催などを契機として、海老名市とともに新たな価値提供と地域の課題解決の一助となる取組みができると考えご提案し、協議を進めた結果、このたびの包括連携協定に至りました。

2. 協定の目的

本協定により、海老名市と損保ジャパンおよびSOMPOひまわり生命が、緊密な相互連携と協働による活動を推進し、地域のニーズに迅速かつ適切に対応して地域の活性化と市民サービスの向上を目指します。

3. 協定の主な内容

損保ジャパンおよびSOMPOひまわり生命の強みを活かせる以下の5分野において業務連携を行います。

- （1）地域の安全・安心と防犯・災害対策に関すること。
- （2）子育てと子どもの教育支援に関すること。
- （3）高齢者への支援と市民の健康増進に関すること。
- （4）地域産業の振興をはじめとしたまちの魅力発信に関すること。
- （5）その他、地域の課題解決に資する事項に関すること。

4. 今後について

損保ジャパンは、今後も海老名市と連携しながら、市民サービスの向上および地域活性化推進に貢献していきます。



協定式の様子

以上